

中瀬公園基本計画（案）

パブリックコメント及び市民説明会で頂いたご意見に対する市の考え方

1 パブリックコメントの実施概要

- (1) 募集期間
平成27年12月15日（火）から平成28年1月14日（木）まで
- (2) 応募方法
- ・郵送
 - ・ファクシミリ
 - ・電子メール
 - ・持参

- (3) 提出者内訳

・性別

男性	女性	未記入	合計
11	2	2	15

・年代別

～30代	40代	50代	60代～	未記入	合計
1	2	2	8	2	15

2 市民説明会の実施概要

- (1) 開催日時
平成27年12月23日（水・祝） 午前10時開始
- (2) 会場
石巻市役所4階庁議室
- (3) 参加者数
20名（内、8名の方からご意見を頂きました。）



▲基本計画(案)の説明



▲質疑応答の様子

3 頂いたご意見の分類

パブリックコメント及び市民説明会で頂いたご意見は、その趣旨をふまえて、下表のとおり分類いたしました。その結果、ご意見数は、パブリックコメントでは79件、市民説明会では27件、合計106件となりました。

項目	意見数		計
	パブリックコメント	市民説明会	
計画全体	6	1	7
基本理念・基本方針	4	—	4
施設	36	16	52
動線計画	2	1	3
植栽	2	—	2
災害発生時の対策	4	4	8
維持管理運営	15	2	17
その他	4	3	7
本公園以外へのご意見	6	—	6
計	79	27	106



4 頂いたご意見の概要とそれに対する市の考え方

お寄せいただいたご意見の概要と、見解・対応は以下の通りです。

計画全体

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
1	ゾーン別整備方針	ゾーン別整備については依存ない。実現してほしい。		ありがとうございます。より良い公園となるよう基本設計を進めてまいります。
2	計画全体	ただの広場公園を作るのならば不要。石巻市のシンボルとならない。		本市の震災復興のシンボルの1つとして、より良い公園となるよう基本設計を進めてまいります。
3		中瀬の全域公園化に賛成であり、基本計画にも賛成である。	2	ありがとうございます。より良い公園となるよう基本設計を進めてまいります。
4	景観	日和山を公園から見上げられる視野も取りいれてほしい。		日和山を望む景観は、本公園の大事な要素のひとつと考えております。周囲の景観を望むための北端部については、ビスタ広場として景観を楽しめる空間を整備していく方針です。
5		日和山や対岸からの景観も考慮してデザインしてほしい。		ご意見のとおり、日和山等からの中瀬の眺望は重要であると認識しており、今後の設計の参考とさせていただきます。
6	参考	中瀬公園は、「富岩運河環水公園（富山県）」を参考としてはどうか。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。

市民説明会

7	計画全体	石巻の歴史の薫るというのは、片鱗すら感じられない。道路の制約や面積を考え、本当に市民が望んでいる用途や利用目的に絞り込んでほしい。		市民ワークショップ等を通して得られた市民ニーズ等をふまえて、本基本計画（案）を作成しましたが、今後も市民の望む用途や利用目的の把握に努めてまいります。併せて、本公園を利用しながら石巻の歴史を感じていただける設えとなるよう、基本設計等を進めてまいります。
---	------	---	--	--

基本理念・基本方針

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
8	基本理念・ 基本方針	うきうきとする賑わいの中心公園になることを心待ちにしている。		今後もより良い公園となるよう、基本設計等を進めてまいります。
9		基本理念に賛成である。石巻の歴史を後世に伝え次世代に引き継ぐことが重要。		
10		テーマとして「未来」「夢」「希望」等が組み込まれてもよかったのではないか。		本公園は、基本方針として、集い、伝え、学び、創るの4つの空間整備を掲げております。この基本方針のもと未来への夢や希望が持てる公園づくりを今後も進めてまいりますのでご理解願います。
11		震災の記録・教訓は、中瀬公園以外の施設（まちなかの「情報交流館」等のような）で受け持つこととし、未来志向型の公園としてほしい。		中瀬の歴史や現状を後世に伝えていくことも重要と考えております。また、本計画においては、多様な主体が参画して、新たな中瀬を創造していく方針です。

施設

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
12	船着き場	川の駅「いしのまき」の船着場の整備		船着き場の復旧につきましては、北上川下流河川事務所とも協議を行いながら、検討してまいります。
13		カヌーの上げ下ろしが出来るスロープを設置してほしい。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。

14	萬画広場	石ノ森萬画館前の広場について、イベント等での使い勝手が悪くなるので傾斜を無くしてほしい。		ご指摘のとおり、イベント時の使いやすさは重要と考えております。新西内海橋（仮称）から石ノ森萬画館への歩行者動線も考慮しつつ、今後の設計の参考とさせていただきます。
15		身体障がい者等の駐車場や、斜面を利用した花壇、石ノ森先生とキャラクター達の半立体モニュメントを設置してはどうか。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。なお、身体障がい者等用駐車場については、石ノ森萬画館付近に整備する方針です。
16	イベント時に必要な施設	気軽にイベント利用してもらえるよう、屋根付きステージ、プレハブ（控室）、倉庫等を整備してほしい。	2	ご指摘のとおり、イベント時の使いやすさは重要と考えておりますので、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
17		駅前広場が市立病院となり、復興イベント等をしていただいていたのに代替施設がない。舞台を備えた広場がぜひ必要である。		駅前にぎわい交流広場の代替施設は、現在の石巻駅南側の駐輪場の場所に整備予定です。ステージも設置予定です。なお、既存の中瀬公園にも、ステージが設置されており、イベント等の実施は可能です。
18	駐車場	石ノ森萬画館近くに身体障がい者等用に駐車場5～6台分を設置してほしい。		身体障がい者の方等の車両につきましては、中瀬内に乗り入れて頂けることを考えており、石ノ森萬画館付近に専用の駐車場を整備する方針です。
19	安全施設・案内施設	安全のための施設や表示をしてほしい。		ご意見のとおりであり、しっかりと安全対策を実施してまいります。

20	歴史伝承の方法・内容	中瀬にあった軍事工場が戦争で爆撃を受けて多くの方が犠牲になったことに対する追悼の碑があってもよいのではないかと。		本公園は、基本方針のひとつである『「伝え」の空間整備』として、中瀬の歴史や現状を後世に伝えていく空間と位置付けております。現在のところ、その方法のひとつとして、追悼の碑を設置することは想定しておりませんが、具体的には今後の設計段階等で検討してまいりますので、頂いたご意見は参考とさせていただきます。
21		歴史や文化の紹介パネルを設置して欲しい。		
22		歴史を学び後世に伝える場として、津波発生時には避難場所にもなり、飲食スペースや演芸舞台等を併設した資料館がほしい。		
23		産業遺構として造船所の上架船台を利用するのであれば、中途半端にならないよう作り上げてほしい。		
24	親水空間	水に親しめる仕組みが必要。		中瀬は堤防を介さずに川に触れ合える貴重な場所であり、今後も親水空間等で具体的に検討してまいります。
25		水際に遊歩道を取り、視点場にはバルコニーを設ける。設置するフェンスは、素材、ディテールまでこだわってほしい。		頂いたご意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
26	水際の安全対策	洪水・高潮・津波・浸食対策のための盛土、護岸整備		安全上や浸食防止のために必要な護岸を整備していく方針です。また、地盤高については、既に復旧している護岸にあわせて基本的にはTP+1.2m以上の高さは確保していく方針ですが、詳細は今後の設計段階等において検討してまいります。
27		護岸整備や柵の設置等の安全対策が必要。親水空間が保たれるよう、柵の設置には工夫が必要。		安全上や浸食防止のために必要な護岸整備を行った上で、川に親しめる空間を整備してまいります。その際、柵の設置等の安全対策も行ってまいります。

28	環境学習空間	ビクターセンターや交流機能は施設を備えるのか。		ビクターセンター等の整備は第二段階での整備を計画しており、具体的な機能については今後検討してまいります。当面は管理棟などの最低限必要な整備を行う方針です。頂いたご意見については、その際の参考とさせていただきます。
29		「伝え」「学び」の空間エリアを設けて、充実したビクターセンターを開設してほしい。展示内容としては、川湊の歴史背景・石巻江戸間の航路図・古い絵図等はどうか。		
30	園路	新西内海橋（仮称）から園内園路のルートを再検討してほしい。園路が南端まで必要なのだろうか。		「できるだけ従前の道を残すことにより、過去の中瀬の記憶を未来に留める空間として整備する。」ことを基本方針としております。また、南端からの避難経路を確保する必要があると考えています。詳細については、今後の設計段階等において検討してまいります。
31		地区内を周遊できる動線となっているのか。		中瀬を一周できる園路を整備する方針としています。詳細については、今後の設計段階等において検討してまいります。
32		ジョギングやウォーキングが出来る幅を確保する。園内各所で行われるイベントの必要物をキャリア等で運搬しやすい配置・作りとする。		園路の幅員等については、今後の設計段階で具体的に検討してまいります。
33		園路・サービス施設	水辺テラスを設け、年間を通していつでも散歩が出来るよう、雨や風雪を避けたスペースを一区間用意し、屋根・日よけがあるベンチを設置してほしい。	
34	サービス施設	休憩スペースやトイレ、洗い場等を充実してほしい。		必要な施設については設置する方針です。具体的には、今後の設計段階等で検討してまいります。
35	アウトドア広場	デイキャンプやバーベキューの道具は、どのようにして搬入出するのか。材料・道具の貸出し等まで踏み込んだ議論がされているのか、不明。		詳細については、今後の設計段階等で具体的に検討してまいります。
36		デイキャンプやバーベキューが出来る広場とするのであれば水道設備やトイレを設置してほしい。		必要な施設については設置する方針です。具体的には、今後の設計段階等で検討してまいります。

37	ピスタ広場	ピスタ広場はただ川を眺めるだけか。高台でもないのに、だれが川を見て喜ぶのだろうか。		中瀬は水面越しに美しい景観が広がっています。南側は河口の日和大橋、北側には籠峰山、東側には牧山、南西側には日和山の緑を望むことができます。また、この広場ではプレーパーク活動等も想定しております。
38		常緑樹のシンボルツリーや屋根付きの休憩施設があると良い。		快適性を高めるための日陰や休憩スペース等を設けたいと考えており、具体的には、今後の設計段階で検討してまいります。
39	シンボルの整備	産業・歴史伝承館や千石船、人工の滝や噴水、植栽等、市民合意によるシンボルを設置してほしい。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。なお、現在のところ、本公園内に噴水等の計画はありませんが、水に親しめる空間の整備は必要と考えております。詳細については今後の設計段階等で検討してまいります。
40	既存の公園	公園中央にあるステージを大型なものにしてほしい。		ステージは災害復旧により整備し供用を開始しております。当面は既存のステージを利用していく方針です。
41	新西内海橋（仮称）	橋からの据付道路の勾配・曲りが急すぎて危ない。		勾配や線形については、道路構造令や都市公園の移動円滑化整備ガイドラインの各基準を満たすよう検討しております。管理・運営の段階においても十分な安全対策を実施してまいります。
42	新東内海橋（仮称）、西内海橋（仮称）	超一流の技術やセンスを大胆に取り入れることにより世界に誇れるシンボルとなる歴史に残る橋の整備をしてほしい。		景観に配慮した設計を進めておりますが、頂いたご意見を参考とさせていただき、今後も整備を進めてまいります。
43	新東内海橋（仮称）、西内海橋（仮称）	新西・東内海橋（仮称）は、「ガーデン・ブリッジ（ロンドン）」を参考としてはどうか。		景観に配慮した設計を進めておりますが、頂いたご意見を参考とさせていただき、今後も整備を進めてまいります。
44	旧ハリストス正教会教会堂	津波や高潮等による被災のリスクのある中瀬内への再建には反対である。被災リスクの少ない場所に再建すべき。		中瀬内へ復元することは、平成27年2月の第2回教育委員会定例会にて議案議決されておりますので、ご理解願います。なお、被災リスクを軽減する措置の実施につきましては、貴重なご意見として市内部で共有し、検討してまいります。
45	旧ハリストス正教会教会堂	L1級の津波によっても流出しないような措置を講じてほしい。		

46	秋葉神社	秋葉神社は、潮の満ち引きにより運がよければ渡れる神社とする等、観光スポット化してほしい。		かつて秋葉神社があったということや、保存の方法について、今後の設計段階等で検討してまいります。 作田島神社につきましては、公園区域から除外し、存置する方針です。
47	秋葉神社・作田島神社	秋葉神社と作田島神社を復旧再建してほしい。		

市民説明会

48	萬画広場	イベント等での使い勝手が悪くなるので傾斜を無くしてほしい。また、市民が使いやすいよう、ステージ、音響、控室等がほしい。		ご指摘のとおり、イベント時の使いやすさは重要であると考えております。新西内海橋（仮称）から石ノ森萬画館への歩行者動線も考慮しつつ、今後の設計段階等で検討してまいります。
49	船着き場	船着き場を整備してほしい。		船着き場の復旧につきましては、北上川下流河川事務所とも協議を行いながら、検討してまいります。
50	駐車場	震災前から、石ノ森萬画館や既存の中瀬公園の利用者は小さなお子様連れが多く、利用しやすさを考えると駐車場が必要である。	2	中瀬地区を含む中心市街地では、「歩いて楽しめるまち」を基本方針としており、本基本計画（案）においても、公園には歩いて来ていただくことを基本として、周囲との回遊性を創出することを考えております。 なお、障がい者の方等の車両につきましては、中瀬内に乗り入れて頂けることを検討しております。また、イベント時の搬入、管理用の車両等についても、通行できるようにすることを想定しており、今後運用方法等について検討してまいります。
51	造船所遺構広場	造船所遺構広場のほかに、現地に残っている船台跡等を残すつもりなのか。		中瀬が造船業を中心に栄えたという歴史を伝えていくために、来園者が中瀬公園をどのように利用するかを想定しつつ、造船所跡の機械やスロープ等を活かすことも含めてより良い方法を検討してまいります。

52		伊達政宗公が行った、川の道、海の道、運河の道といったサンファンと、川の開拓、あとは運河の開削を発信してはどうか。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
53	歴史伝承の方法・内容	様々な文化芸能、水の歴史がある場所。ハードの整備が難しいのであれば、どのように表していくのか。		来園者が本公園をどのように利用するかを想定しつつ、造船所跡の機械やスロープ、多様な水際等を活かすことも含めてより良い方法を検討してまいります。また、将来的には、中瀬の歴史等を学ぶ学習会の実施等も想定しています。
54		縄文時代から遡ってほしい。また、中瀬がなぜ出来たのか歴史的背景を知りたい。		中瀬地区の歴史を拡充し、参考資料として本市の歴史を追加しました。
55		米集積地や造船の歴史、東日本大震災のこと等を組み合わせた歴史伝承をしてほしい。また、伝承施設を整備するならば、船舶のような建物が良い。		本公園は、基本方針のひとつである『「伝え」の空間整備』として、中瀬の歴史や現状を後世に伝えていく空間と位置付けております。具体的な方法については、今後の設計段階等で検討してまいります。当面は管理棟などの最低限必要な整備を行う方針です。
56		親水空間	護岸ができずに一番低くて水に近いことを活かし、水路や噴水等、水を上手く使って水に近い公園としてほしい。	
57	水際の安全対策	どのような護岸を作るのか。将来、盛土をして地盤を高くするという考え方があるのか。		安全上や浸食防止のために必要な護岸を整備していく方針です。また、地盤高については、既に復旧している護岸にあわせて基本的にはTP+1.2m以上の高さは確保していく方針ですが、詳細は今後の設計段階等で検討してまいります。
58	学びの場	子供たちが、中瀬はなぜできて、どういった流れで現在まで来たのかを勉強する場所と観光場所を組み合わせたい。		自然環境やかわみなど石巻の歴史、震災の被害状況などを学んでいける空間を整備することとしており、今後も引き続き検討してまいります。
59	園路	南側に既存の道路が必要だろうか。東西どちらも中途半端な土地利用しかできない。どこまで必要か再検討すべき。		「できるだけ従前の道を残すことにより、過去の中瀬の記憶を未来に留める空間として整備する。」ことを基本方針としております。また、南端からの避難経路を確保する必要があると考えています。詳細については今後の設計段階等において検討してまいります。
60	サービス施設	トイレの増設が必要である。		必要に応じてトイレの増設等も想定しておりますが、詳細につきまして、今後、設計段階等で検討してまいります。

61	旧ハリストス正教会教会堂	津波や高潮等による被災のリスクのある中瀬内への再建には反対である。被災リスクの少ない場所に再建すべき。		中瀬内へ復元することは、平成27年2月の第2回教育委員会定例会にて議案議決されておりますので、ご理解願います。なお、被災リスクを軽減する措置の実施につきましては、貴重なご意見として市内部で共有し、検討してまいります。
62	旧ハリストス正教会教会堂	L1級の津波によっても流出しないような措置を講じてほしい。		
63	秋葉神社・作田島神社	秋葉神社と作田島神社を復旧再建してほしい。		作田島神社につきましては、公園区域から除外し、存置する方針です。

動線計画

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
64	車両乗り入れ	中瀬公園利用者の車両乗り入れをさせてほしい。	2	中瀬地区を含む中心市街地では、「歩いて楽しめるまち」を基本方針としており、本基本計画（案）においても、公園には歩いて来ていただくことを基本として、周囲との回遊性を創出することを考えております。 なお、障がい者の方等の車両につきましては、中瀬内に乗り入れて頂けることを検討しております。また、イベント時の搬入、管理用の車両等についても、通行できるようにすることを想定しており、今後運用方法等について検討してまいります。
65		身障者以外にも、交通弱者である高齢者や幼児、イベント主催者の運搬車等の乗入れも認めてほしい。		

市民説明会

66	車両乗り入れ	車の乗り入れをしない理由が不明。		中瀬地区を含む中心市街地では、「歩いて楽しめるまち」を基本方針としており、本基本計画（案）においても、公園には歩いて来ていただくことを基本として、周囲との回遊性を創出することを考えております。 なお、障がい者の方等の車両につきましては、中瀬内に乗り入れて頂けることを検討しております。また、イベント時の搬入、管理用の車両等についても、通行できるようにすることを想定しており、今後運用方法等について検討してまいります。
----	--------	------------------	--	---

植栽

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
67	植栽	桜並木を設けてほしい。		具体的な樹種については基本計画では定めておりませんが、頂いた意見は今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
68		1年を通じて四季により異なる草花を楽しめる公園としてほしい。		四季を通じて草花や木々が楽しめる空間とすることも人々が集う空間とするための重要な要素と考えております。具体的には、今後の設計、管理・運営段階で検討してまいります。頂いたご意見については、その際の参考とさせていただきます。

災害発生時の対策

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
69	避難計画	石ノ森萬画館を避難場所とした場合に想定する津波高さは。また、避難する階の高さは。	2	別途、作成する、中瀬公園避難マニュアル（案）の中で具体的に検討してまいります。
70		南側に高さ8～10m程度の避難築山を作ってはどうか。		
71		避難タワーを整備してほしい。		
72	冠水対策	大雨や大潮時に道路が冠水しない対策をしてほしい。		基本的な地盤はT.P1.2以上とする計画ですが、具体的には今後の設計で検討してまいります。なお、公園は大雨や高潮による浸水の危険がある場合には利用制限を行う方針です。

市民説明会

73	避難計画	東日本大震災と同様の災害が発生した際の避難方針を示してほしい。	2	洪水・高潮・津波等による浸水の危険がある場合には、来園者を中瀬地区から避難させるとともに、利用制限等の措置を行います。 具体的には、関係部署と協議をした上で、別途、作成する、中瀬公園避難マニュアル（案）の中で検討してまいります。
74		避難場所を明確に示してほしい。		ご指摘のとおり、公園利用者が災害時の避難場所を明確に分かるようにすることは重要であると考えており、来園者が、安全にかつ早急に中瀬地区外へ避難できるよう、案内板の設置や避難を誘導する監視員の配置等、避難誘導に必要な措置の実施等に務めてまいります。
75		築山が必要なかどうか。		洪水・高潮・津波等による浸水の危険がある場合には、来園者は、中瀬地区外の安全な高台等に避難することを基本としますが、詳細は、別途、作成する、中瀬公園避難マニュアル（案）の中で具体的に検討してまいります。
76		石ノ森萬画館を避難場所に指定するのか。		

維持管理運営

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
77	推進体制	公園づくりの推進体制の中に、中心市街地との関係が密接になってくることから、街おこし・街づくりの1項を付け加えてほしい。		ご指摘のとおり、中心市街地との関係は非常に重要であり、今後も連携・交流を念頭に公園づくりを進めてまいります。
78	体制管理運営	市民や観光客の広い意見を取り入れながら、未来志向の管理運営が出来る体制づくりをしてほしい。		ご指摘のとおりであり、今後も協働による管理運営体制等について検討してまいります。

79	植樹活動	植樹活動に参加してみたい。		多様な主体が参画し、継続的に公園づくりを行う方針としていますので、実施の際には参加をお願いします。
80		桜の苗木のオーナー募集を全国に発信して行い、植樹を実施してはどうか。		多様な主体との協働により公園づくりをしてみたいと考えており、今後具体的なことを検討してまいりますので、頂いたご意見は参考とさせていただきます。
81	市民参加	市民が手をかけて春夏秋冬ごとに異なる草花を楽しめるような公園としてほしい。	2	公園の維持管理・運営につきましては、地域住民等との協働により公園づくりをしてみたいと考えておりますので、その際は、ご協力をよろしくお願いいたします。
82		手作りする公園としたい。		
83		公園の植え込みの維持管理については、主にシルバーの方々からボランティア希望者を募ってはどうか。		
84		ボランティアの方々へは賃金ではなく、日帰り入浴や食事券、カラオケ大会等とすることで、参加意欲を増進してはどうか。		
85	入園料	入園料を有料とする。		現時点では本公園を有料とする計画ではありません。
86	飲食店舗	飲食物を提供する場がほしい。		電気ガス水道等のインフラ整備を行いますので、イベント時の露店等の設置は可能です。常設の店舗の設置につきましては、今後、社会実験等の実施により、利用状況等を勘案しながら検討してまいります。

87	動物園・カフェ	小動物園を整備してほしい。また、ネコカフェ等を設置してほしい。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
88		この公園でどのような活動ができるのか分からない。		公園の運営については、今後も多様な主体が参画できるよう検討してまいります。なお、本編P31、P33に「利用イメージ」を記載していますので、参考にしてください。
89	公園の利活用	アート作品を展示することで、未来へ心を開く環境づくりをしてほしい。		ご意見のとおり、石巻の未来についても思いを馳せられるような空間の整備が必要と考えております。
90		未来志向に重点を置き、集客性も考え、新しいジャンルの魅力（例えばアート作品等）も展開させていくべきではないか。		
91	来園者の増大	萬画以外で集客できる仕組みを検討すべき。		基本方針のひとつである『「集い」の空間整備』として、復興の先導となり多くの市民や来園者で賑わう空間とすることを位置付けており、頂いたご意見については、今後の設計の参考とさせていただきます。

市民説明会

92	植樹活動	植樹を通して植えるところから関わることにより、参加者の思い出となり、来園者の憩いの場となっていくのではないかと。		ご意見のとおり、植樹ができるスペース等も重要と考えております。また、多様な主体が参画した公園づくりを行っていく方針としており、今後も引き続き検討してまいります。
93	公園の利活用	アートの展示のように、未来に対するものも打ち出してほしい。		ご意見のとおり、石巻の未来についても思いを馳せられるような空間の整備が必要と考えております。

その他

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
94	建築物の建築について	全体を公園化ということだが、石ノ森萬画館以外に、建築物を建てるのが可能なのか。		建築物については可能となりますが、当面は管理棟などの最低限必要な整備を行う方針です。その他の建築物につきましては、今後も社会実験等とおし皆様と検討を行いながら、中瀬の立地条件等も考慮しつつ必要性を十分検討のうえで検討してまいります。
95	全域公有化について	堤防を整備しないと聞いていることから、個人用地を残さず全て公有化することに賛成である。個人用地を残すことは危険であり、反対。		中瀬については、作田島神社を除き全域を公園として整備していく方針です。
96	復興祈念公園との役割分担	南浜は「鎮魂」「祈念」がメイン、中瀬は「未来」「夢」「希望」がメインになるのではないか。		南浜地区の復興祈念公園との連携や役割分担は重要と考えております。復興祈念公園は、東日本大震災の追悼と鎮魂の場であり、かつ、被災の実情と教訓を後世に伝承し、メッセージを発信する場として、中瀬公園は、賑わいを創出していくべく公園を整備することで、両公園がシンボル公園としての役割を果たしていくと考えております。
97	北上運河との関連	北上川、旧北上川、石井閘門等の水辺空間を活用した運河交流館付近を基本計画に加えてほしい。北上運河沿いへの桜の木の植樹やベンチの設置、運河交流館内への飲食スペースの併設、レンタル自転車の実施等を検討してほしい。		本市は、旧北上川や貞山運河等を一体的に活用し、河川や水辺を生かしたまちづくりをするべく、「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」を策定しました。中瀬もこの計画の中に位置付けられており、本計画とも関連していることから、旧北上川や貞山運河等との連携については、貴重なご意見として市内部で共有し、検討してまいります。

市民説明会

98	既存施設の活用	現在ある民間の建設物を、買収せずに利活用することも一つでないか。		頂いた意見は、今後の設計段階等の参考とさせていただきます。
99	近隣の計画との役割分担	南浜門脇地区の復興祈念公園や水辺のプロムナード構想と、魅力のすみわけをし、一体として魅力があり人々が集まる場所としてほしい。		近隣で計画している、南浜地区の復興祈念公園や水辺のプロムナード計画等との連携・役割分担は重要と考えております。ご意見のとおり、それぞれの個性を活かしつつ、さらに、一体となっても魅力ある空間となるよう、公園づくりを進めてまいります。
100	今後のスケジュール	用地買収や公園開設はいつ頃を予定しているのか。		来年度には用地調査、実施設計の着手を検討しており、基本的な整備は平成32年度までに完了し、供用開始を目指す方針としています。

本計画以外へのご意見

パブリックコメント

番号	項目	ご意見等の概要	件数	市の考え方
101	観光戦略	国立震災メモリアルパークを起点に、日和山公園、中瀬公園、中心市街地拠点への観光シンボルの創出の見直しを図り、一過性で終わることのないよう、観光客の満足度100%のおもてなしの演出をすべき。		貴重なご意見として市内部で共有し、本市の観光振興を図るべく、必要性・実現性について検討してまいります。
102		滞在型観光地への変革をするべく、団体客がゆったり宿泊出来るホテルの誘致が必要。		
103	新たな交通手段の整備	日和山から中瀬、中心市街地までの移動をスムーズにするべく、モノレールやロープウェイ、渡り船の移動手段が必要である。		モノレールやロープウェイについては、現時点では検討しておりませんが、今後の参考とさせていただきます。なお、定期航路としての舟運についても現時点では具体的な計画はありませんが、乗船場の必要性は認識しており、北上川下流河川事務所とも調整しながら、今後の設計段階等で具体的に検討してまいります。
104		交通弱者のためのコミュニティバスや、観光スポットの往復をするシャトルバスを導入をしてほしい。		貴重なご意見として市内部で共有し、公共サービスの向上と交流人口の増加を図るべく必要性・実現性について検討してまいります。
105		運河クルーズで中瀬と運河交流館を結んでほしい。		現時点では具体的な計画はありませんが、乗船場の必要性は認識しており、北上川下流河川事務所とも調整しながら、今後の設計段階等で具体的に検討してまいります。なお、舟運につきましては、今後、社会実験等の実施により、利用状況等を勘案しながら検討してまいります。
106	日和山公園	車いすの方も安心して展望できるよう、日和山公園にバリアフリー化した見晴展望台を設置してほしい。		貴重なご意見として市内部で共有し、来園者が安心してご利用いただけるよう、必要性・実現性について検討してまいります。